

令和7年度 第2回 自転車セミナー



講師

小俣 雄風太 氏

＜講師プロフィール＞

小俣雄風太（おまたゆふた）

自転車ジャーナリスト、編集者。国内外の自転車にまつわるイベントを取材。自転車を「その土地の文化を知り、体感するツール」に位置づけ、欧州ロードレース実況から小径車のサイクリングまで広範な発信に務めている。著書に「旅するツール・ド・フランス」（太田出版）。J SPORTSではレース実況も務める。サイクリングポッドキャスト&編集室のARENBERGを主宰。

自転車レースはどう書かれてきたか

～ロードレースを巡るナラティブを考える～

20世紀初頭に欧州で本格化した自転車ロードレース。

ツール・ド・フランスやジロ・デ・イタリアなど今日も残るその多くが、新聞社の販促イベントとして創始された。すなわち、文字として書かれ、報道されることを前提としたスポーツイベントであった。1世紀以上にわたるロードレースの歴史の中で、いかにレースが記述されてきたか、どのようなナラティブがあったのかを実例から読み解くとともに、メディアの意味が変貌した21世紀においていかなる書き言葉の表現が可能なのかを考える。

開催日：2026. 2. 19. Thu

講演時間：18:30～20:00（開場 18:00）

懇親会：20:10～21:00

参加費（税込）：

会場参加 ￥2,000

オンライン ￥1,500

会場参加+懇親会 ￥3,000

※セミナーご参加前にHPの注意事項をご確認ください。 <https://www.bpaj.or.jp>



一般財団法人

日本自転車普及協会

〒141-0021

東京都上大崎3-3-1 自転車総合ビル

ACCESS

JR山手線、東京メトロ南北

線、都営三田線、東急目黒線

「目黒駅」より徒歩3分

お申込みはコチラ

